


## F-Mark Q&A

### 1. F-Mark のご利用にあたって

現象	確認項目 / 対処
<p>事前に準備しておくもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 以下の寸法の設置台を推奨します。 幅 800mm × 奥行 820mm 以上の設置台が必要です。 テーブルより排紙トレイ部分が D 380mm、H 420mm 垂下します。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4 個口以上のテーブルタップまたは、電源コンセントを用意してください。 パソコン、CE6000、F-Mark、USB ハブの 4 個の電源が必要となります。</li> </ul>
<p>使用時の制約事項について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グラフテックの他のカッティングプロッタと同時接続はできません。</li> <li>■ CE6000Plus および CE6000 付属のプラグインソフトウェアおよびグラフィックデザインソフトウェアは利用できません。</li> <li>■ CE6000Plus および CE6000: シンプルモードでの利用はできません。必ず解除してください。</li> <li>■ 給紙方法は”ロール 2 セット位置から”を必ず選択してください。</li> <li>■ パソコンのスリープをオフにしてください。電源オプションの”コンピューターをスリープ状態にする”を「なし」に設定してください。</li> <li>■ ペン用プランジヤは使用できません。</li> <li>■ i Mark ソフトウェアのファイル名は日本語名 2 バイト(仮名漢字など)は使用できません。</li> <li>■ ファイル名は英数字に変更してください。</li> </ul>
<p>AI デザインデータの対応は version ”8” となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データ保存の際、イラストレータ 8 にしてください。 AI 形式のデータはオプション設定が少なく、読み込み時のエラーが少ない為、AI を採用しています。</li> </ul>

現象	確認項目 / 対処
用紙の制限について。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カールしている用紙は利用できません。</li> <li>■ 厚手の腰の強い用紙の場合、メディア分離用のフラップにあたり使用できない場合があります。</li> <li>■ オンデマンド印刷用の用紙にて一部通気性がある商品があります。重送が発生する為に利用できません。</li> <li>■ 積載高さ最大 35mm または 200 枚となります。厚手の用紙の場合は 200 枚の積載は不可となっています。</li> </ul>
作図エリアについて。	<p>最大作図エリアは下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 用紙先端からの最先端のカットラインまでの距離 ラベルカットの場合： 20mm（推奨値 30mm） 抜きカットの場合： 25mm（推奨値 35mm）</li> <li>■ 用紙後端から最後端のカットラインまでの距離 5mm（推奨値 15mm）</li> <li>■ 用紙上端から最上端のカットラインまでの距離 5mm（推奨値 15mm）</li> </ul> <p>※ 最大作図エリアで使用した際、メディアの状態によりクロップマーク読取りや用紙搬送がエラーとなる場合があります。</p> <p>※ 安定したカットを行うために( )内の値を推奨しております。</p>
テストカットについて。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メディアサイズまたは種類、カットデザインを変更した場合、都度テストカットを行ってください。</li> <li>■ 下記の際は必ずテストカットを実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セットアップ時</li> <li>・ iMark ソフトウェアのパラメータを変更時</li> </ul> </li> </ul> <p>※ テストカットを行わないとパラメータは更新されません。</p>

## 2. セットアップ

現象	確認項目 / 対処
CE6000Plus および CE6000のバージョン確認。	<p>CE6000Plus および CE6000のファームウェアを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ CE6000Plus および CE6000は下記の対応バージョン以降で使用してください。 CE6000Plus: Version 1.10より CE6000: Version 2.50より</li> </ul> <p>※ 古いバージョンでは誤動作します。対応バージョンへのバージョンアップをお願いします。</p>
用紙セット時の取り扱い注意事項。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 使用する用紙の幅に合わせて側面ガイドの幅を調整してください。側面ガイドの幅は使用する用紙の側面に軽く当たる程度に調整してください。</li> <li>■ 用紙を給紙トレイにセットし、用紙サイズに合わせて後端ガイドの位置を調整してください。後端ガイドの位置は、用紙の先端が給紙トレイに軽く押し当たる程度に調整してください。</li> <li>■ 用紙を給紙トレイにセットする際は、用紙の先端を給紙トレイに押し込んでください。</li> <li>■ 用紙がピックアップできない場合は、用紙吸着調整ネジを調整し吸着力を調整してください。時計方向にネジを回転させることで吸着力が強くなります。</li> </ul> 
CE6000Plus を i Mark ソフトウェアが認識しない。	<p>ご利用時に必ず、i Mark ソフトウェアの About i Mark の init cutter を実施して CE6000Plus を再度認識させてください。</p>
カメラのフォーカス調整。	<p>i Mark ソフトウェアでクランプマークがぼやけないようにカメラのフォーカスを調整してください。</p> <p>※ カメラのフォーカスが合っていないと正しくクランプマークを読み取れません。</p>
キャリブレーションについて。	<p>キャリブレーションとは、クランプマークを読み取るカメラの校正を行う操作です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ セットアップ時に必ずキャリブレーションを実施してください。</li> <li>■ また F-Mark をカッティングプロッタから外したり、接続するコンピュータを変えた場合は、カット動作を行う前にキャリブレーションを行ってください。</li> <li>■ キャリブレーションをした校正値は、PC に保存されます。</li> <li>■ また、カットズレが頻繁に発生する際などの問題がある時は、再度キャリブレーションを行ってください。</li> </ul> <p>※ キャリブレーションをスポットライト等の強い照明の下で実施すると、正しくキャリブレーションできない場合があります。</p>
設置環境について。	<p>スポットライト等の強い照明環境に設置した場合、正常に動作しない場合があります。</p>

### 3. トラブルシューティング

現象	確認項目 / 対処
F-Mark がメディアを CE6000Plus (CE6000) に挿入する時にツールキャリッジにぶつかってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CE6000Plus (CE6000) のファームウェアバージョンが古いです。</li> <li>■ CE6000Plus を対応バージョンへバージョンアップしてください。 CE6000Plus: Version 1.10～ CE6000: Version 2.50～</li> </ul>
F-Mark が用紙をセットする際に用紙を落としてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 吸着によって用紙がピックアップできない。或いはピックアップ後に落としてしまう場合は、用紙吸着調整ネジを時計方向に回し吸着力を強くしてください。</li> </ul>
F-Mark が用紙を CE6000へ挿入時に、プッシュローラーに届かず用紙がセットされない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ソフトウェア i Mark で Insertion の設定で挿入量の調整が出来ます。</li> <li>■ 薄いメディアは0～10程度。</li> <li>■ タックシールなど標準的な厚みのメディアは30程度の値を入れて動作させ、インサクション状態を見て、調整値を変更してください。</li> </ul>
カメラを認識しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 使用する PC に他のカメラ(内臓、USB 外付け)があると認識しないことがあります。</li> <li>■ 他の USB 機器やそれをコントロールするソフトは同時に使用できません。</li> <li>■ USB ケーブルを外し、ソフトは終了させてください。</li> </ul>
クロップマークを配置する位置は？	<p>クロップマークは下記の正しい位置に印刷されていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ クロップマーク1点目 用紙先端からクロップマークまでの最小距離 40mm 用紙下部からクロップマークまでの最小距離 6mm</li> <li>■ クロップマーク2点目 用紙後端からのクロップマークまでの最低距離 20mm (推奨値 30mm) 用紙下部からクロップマークまでの最小距離 6mm</li> </ul> <p>※ 印刷画像の間隔は最低 5mm 間をあげてください。 ※ クロップマークと印刷画像の間隔が狭いと Marker not found (マークが見つかりません)のエラーが表示されます。</p>
用紙の読み込み動作はするが途中で止まる。	<p>クロップマークを正しく読み取っていない可能性があります。 以下の事項を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 用紙の読み込み動作時、クロップマークがカメラの中央に写っている。</li> <li>2. 用紙先端からクロップマークの位置を測定し、i Mark ソフトウェアの First Marker に正しい数値を入力している。</li> </ol>
CE6000Plus 本体で速度設定しても、速度が変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ F-Mark と CE6000Plus を接続した際のカット速度は、CE6000Plus 本体の速度設定は無効となります。</li> <li>■ i Mark ソフトウェアの、Die Cutting(ミシン目カット)モード、Special Color(マゼンタライン)モード、選択時では、カット速度の設定が可能です。</li> <li>■ 通常モード(ハーフカット)ではカット速度の設定は出来ません。</li> </ul>

現象	確認項目 / 対処
<p>カメラの画像が i Mark に表示されない。 または、画像が真っ暗となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カメラ用の USB ケーブルが正しく接続しているか確認してください。</li> <li>■ カメラ先端部のキャップを取り外しているか確認してください。</li> <li>■ About i Mark の init cutter で初期化させてください。</li> </ul>
<p>F-Mark やカメラが PC で認識されない。 F-Mark と PC の接続が不安定で正常に動作しない。 i Mark ソフトウェア上のカメラの画像が停止する(変化しない)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ USB-Hub が不安定になっている可能性があります。</li> <li>■ 付属する USB-Hub 用 AC アダプタを使用してください。</li> <li>■ 付属品以外の USB ケーブルを使用しないでください。</li> <li>■ PC のスリープモードとスクリーンセーバーの設定をオフにしてから i Mark ソフトウェアを再起動してください。</li> </ul>
<p>機体を別の部屋に移したり照明を変えると、カメラの読取がうまくいかなくなる。 照明を変更したら正確に輪郭カットができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カメラのフォーカスが合っていないと照明の影響を受けます。</li> <li>■ フォーカスを合わせて確認してください。</li> </ul>
<p>i Mark ソフトウェアのパラメータの設定値を変更したのに、有効にならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パラメータ変更後、Cut Test を実施してください。</li> <li>■ パラメータが有効になります。</li> </ul>